

対 象 学 年			
小学校			中学校
低学年	中学年	高学年	全学年

草花遊び



プログラムの概要

この活動は、自然の草花を使った遊びをとおして、自然に親しみ、自然を相手に遊ぶことの楽しさを味わい自然とかかわる意欲を育てることを考えたプログラムです。

身の回りに自然の草花があっても、なかなかそれらに興味・関心を持って活動することが少ないのが実態です。

このプログラムの遊びをとおして、植物のからだのつくりの特徴などにも気づけば、学習としても意義あるものとなります。

所要時間：低学年で 2 ～ 3 時間
高学年で 3 時間程度

草花遊び

1 活動のねらい

- ・遊びをとおして、植物のからだのつくりを理解する。
- ・自然の中にある草花を使った遊びをとおして、自然に親しみをもって接することができる。
- ・互いに協力したり、楽しさを共感し合ったりして遊ぶ。

2 活動のフィールド

- ・妙高少年自然の家の第二野外炊事棟周辺から、大池横の道路に沿って第二駐車場前をとおり「イワナの里」入口までの間。（ただし、駐車場周辺は交通量が多いので車道には出ないように気をつける。）

3 準備品

個人で準備するもの：はさみ、ポリ袋、雨具、長袖・長ズボン

4 活動の手順

（1）事前学習

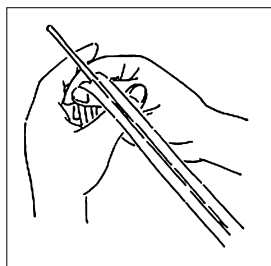
- ・ウルシの木はかぶれるので、十分周知させておきます。
（実物を提示してその特徴を教えて、注意を促します。）

（2）少年自然の家での活動

①第二野外炊事棟周辺から池の周辺での活動

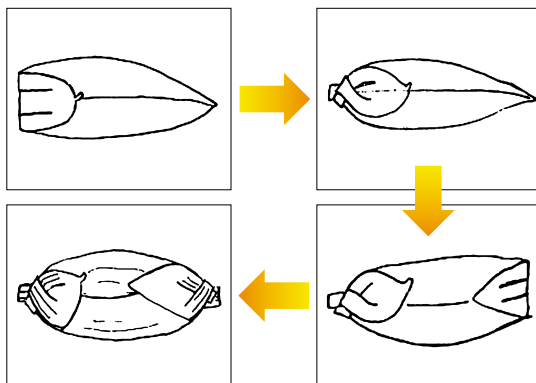
この周辺にはササ、ススキ、ヨシ、少し森に入るとホオノキがあります。活動の魅力から考えて、最初にススキロケット、ササ舟、ヨシの帆掛け船、そしてホオノキの風車の順に展開することで、喜びは増大します。

ア、ススキロケット



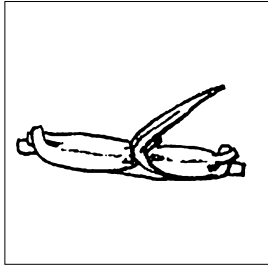
ススキの葉を基部から採ります。その基部を中央脈と両側の葉身の3つに割き、中央脈を図のようにして左手に載せ、右手で左右の葉身をもって勢いよく下に引き下ろします。すると、中央脈がロケットとなって空中に飛び出します。

イ、ササ舟（完成したら池に浮かべる）



ササの葉を1枚採り、葉の表を下にして葉の基部と先端を折り曲げます。折り曲げた所を、同じ幅に3つに割き、左右のどちらかの葉と葉の隙間に差し込みます。反対側も同様にして完成です。

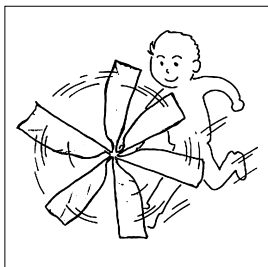
ウ、ヨシの帆掛け船（完成したら池に浮かべる）



ヨシの葉をさやの部分をつけて1枚採ります。作り方はササ舟と同じですが、ヨシの葉は葉身が長いので葉先が余ってしまいます。それを中央で直角に折り曲げて帆にします。その帆の下部分を割いて、そこにさやを差し込んでピンと直角に立てれば完成です。水に浮かべるには、葉先をある程度切り取って浮かべます。帆が風を受けて走ります。

エ、ホオノキの風車

ホオノキは枝から放射状に葉が出ています。枝がこれらの葉と直角に伸びているものが風車に適しています。



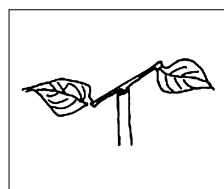
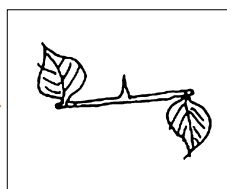
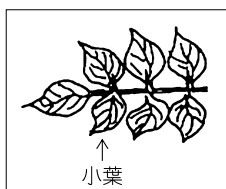
葉が放射状に出たホウノキの一枝を10cm程度の枝を付けて採ります。葉の先端から軟らかい部分を5cm程度全て切りそろえます。次に葉の中央脈の同じ片側の葉身を手で丁寧に切り落とします。完成したら枝を軽く握って走るとクルクルと回ります。投げ上げても回転して落ちてきます。

②第二駐車場からイワナの里周辺

この周辺にはタラノキやクズがつるを伸ばしています。そこではタラノキの風車やクズの弓、そして、草の葉鉄砲を体験しましょう。

ア、タラの風車

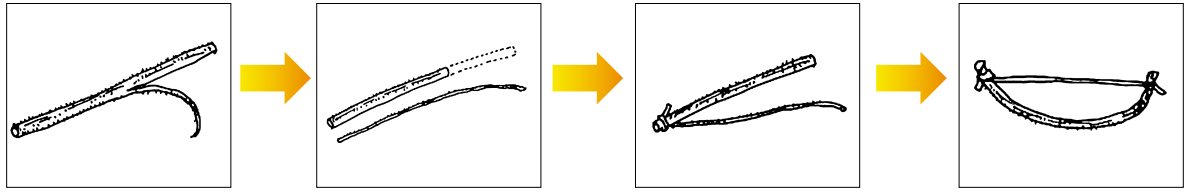
タラノキは木の幹にも葉にも鋭いトゲがあります。低・中学年なら持参したはさみを利用させるとよいでしょう。



タラノキの葉は小葉が対^{つい}になってたくさんついています。6枚の小葉をつけて葉を採ります。真ん中の小葉は2枚とも取り除き、両側の小葉は対角線となる1枚ずつ残して取り除きます。完成したら、真ん中が中空な草の茎に、真ん中のトゲを差し込んで、風上にむかって走るとクルクルまわります。



イ、クズの弓



クズの緑色のやや太めなつるを25cm程度に切り取ります。そのつるの皮を幅5mm程度で1本はぎ取ります。皮をとったつるを15cm程度の長さに切り、端にははぎ取った皮を結びます。つるを少し弓状に曲げ、他の端にも皮をしばると弓のできあがりです。細い草の茎を10cm程度切って矢を作ります。それをつがえて軽く引いて放すと、矢が飛んでいきます。



ウ、草の葉鉄砲

これはクズだけでなく、フキなどの広く軟らかい葉なら何でもできます。

クズの葉1枚を採ります。左手で筒をつくるように手のひらを丸め、その上にクズの葉を広げて少し筒の中に押し込みます。右手のひらを大きく広げ、葉の真上から空気が漏れないようにたたくと、ポーンと大きな音を出します。



ふりかえりの活動（次のような言葉掛けをして活動をふりかえると良いでしょう）

- ・一番心に残った野草遊びは何でしたか。どんなところがおもしろかったですか。
- ・自分で工夫してよかったと思うことがあったら教えてください。

（3）事後学習（学校に帰ってから学習する内容）

- ・特になし

5 活動上の留意点

- （1）ここでは遊びの一部だけを紹介しました。その他にも、ススキロケットⅡ、ヨシのミサイル、ヤグルマソウの風車など、季節に応じた遊びができます。それらを掲載したハンドブック（濁川明男編著：2003「野山で草花あそび」北越出版）も貸し出すことができますので、事務室に申し出てください。いろいろな本に紹介されていますので、さらに遊びを広げて活動してください。
- （2）草花遊びでは、草で手を切ったりトゲが刺さったりすることがありますが、それも大切な体験（学び）です。救急用具を備えて活動に臨んでください。

6 引用文献

- ・濁川明男編著：2003「野山で草花あそび」北越出版

ねらい別活動プログラム集「草花遊び」

発行日：平成18年2月28日

発行：独立行政法人国立少年自然の家 国立妙高少年自然の家

所在地：〒949-2235 新潟県妙高市大字関山6323-2

編集：濁川明男（上越教育大学教授）

執筆：寺島政敬（妙高市新井中学校教諭）